

パーティション扉専用片錠A

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただく為に、施工前に必ず説明書をお読みください。

門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。

■施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いか確認してください。

■使用上のご注意

- 製品の破損などによる身体の損傷等の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。
- 扉の上に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

梱包明細表

1 パーティション扉セット (W07・H18)

名 称	員 数	
	右勝手	左勝手
扉本体 (W07・H18)	1	1

2 パーティション扉セット (W07・H14)

名 称	員 数	
	右勝手	左勝手
扉本体 (W07・H14)	1	1

3 戸当り枠セット

名 称	員 数	
	H:1800	H:1400
戸当り枠	1	1
戸当り枠キャップ	2	2
プッシュボタン φ10用	2	2
戸当り枠固定ネジ φ4×35バインドピース	3	3
戸当り枠キャップ取付ネジ φ4×20 (G=5)トラス2種	2	2

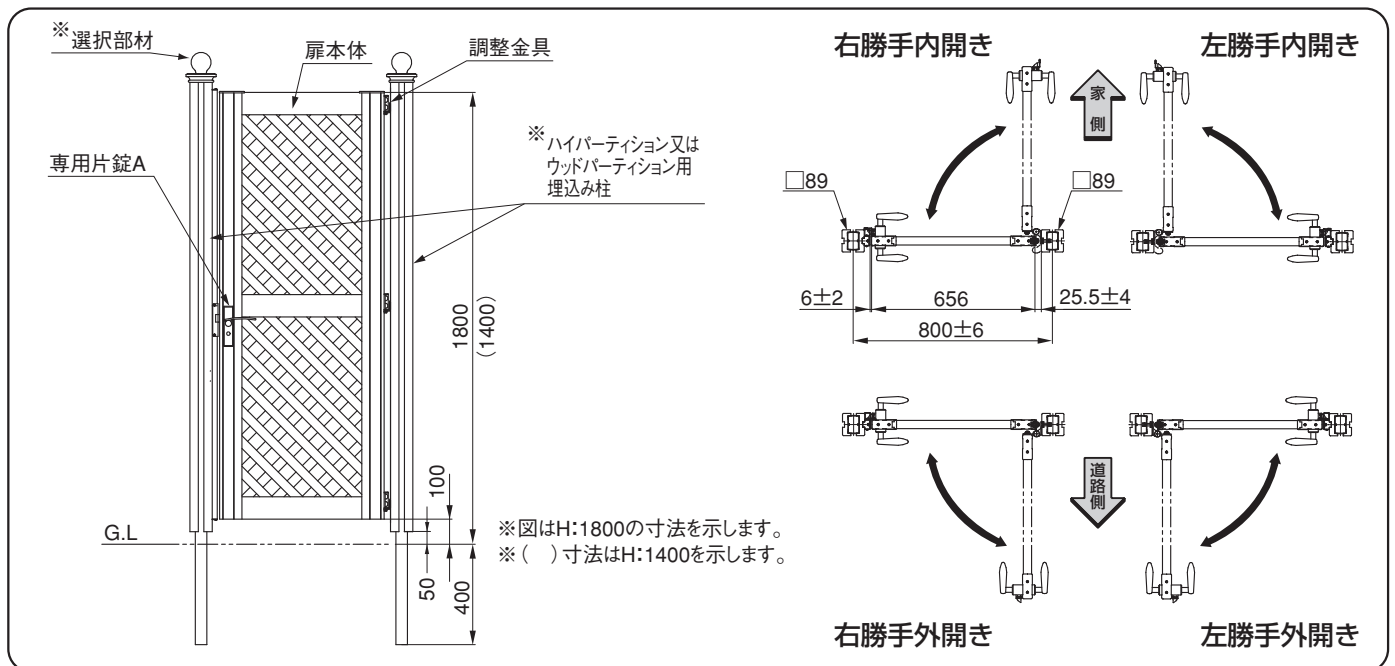
4 専用片錠Aセット

名 称	員 数
片錠本体	1
シリンダーキー	3
フロントカバーA	1
フロントカバーB	1
片錠戸当りセット (内開き用)	1
ヒンジ	3
ヒンジ裏板	3
ヒンジ固定ボルトキャップ	6
ヒンジキャップ	3
調整金具セット	3
シャフト用ワッシャー	3
ストライクセット	1
外開き戸当りセット	1
錠取付ネジ M5×50サラ (D=8)	2
片錠戸当り (内開き) 取付用ネジ M4×6サラ	4
ヒンジ固定ボルト M8×15六角ボルト (フランジ付)	6
調整金具取付ネジ φ4×35バインドピース	12
ストライク取付ネジ φ4×16トラス3種PW,SW付	4
外開き戸当り取付ネジ φ4×16トラス3種PW,SW付	2

<注 意>

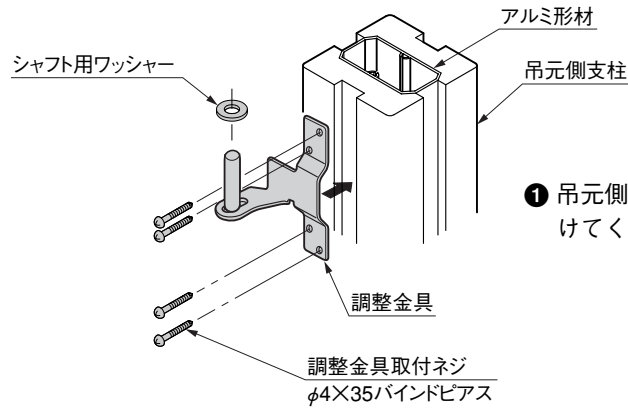
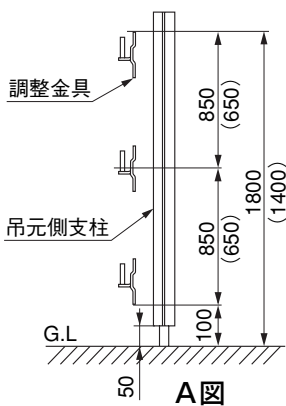
- 支柱はハイパーパーティション又はウッドパーティション用埋込み柱を使用します。
- 支柱キャップはハイパーパーティション又はウッドパーティション用支柱キャップを使用します。
[柱キャップA,柱キャップB,柱キャップB+柱ギボシのいずれかを選択]

1. 姿図および各部名称



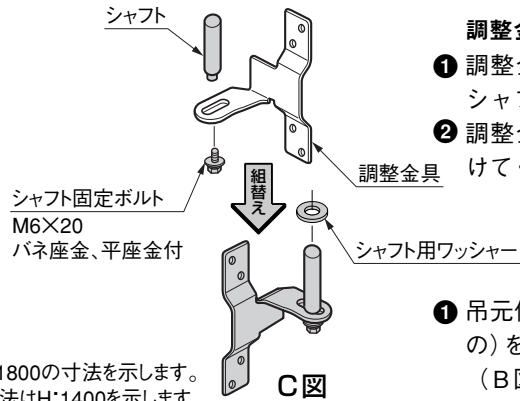
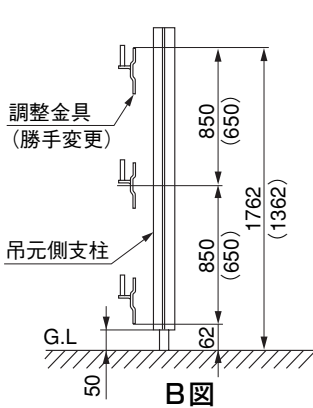
2. 調整金具の取付け

2-1 右勝手内開き仕様・左勝手外開き仕様の場合



- 吊元側の柱に調整金具を所定の位置に取付けてください。(A図参照)

2-2 右勝手外開き仕様・左勝手内開き仕様の場合



調整金具の勝手変更

- 調整金具のシャフト固定ボルトをゆるめ、シャフトを外してください。
- 調整金具を反転し、再度シャフトを取付けてください。(C図参照)

- 吊元側の柱に調整金具(勝手を変更したものを)を所定の位置に取付けてください。(B図参照)

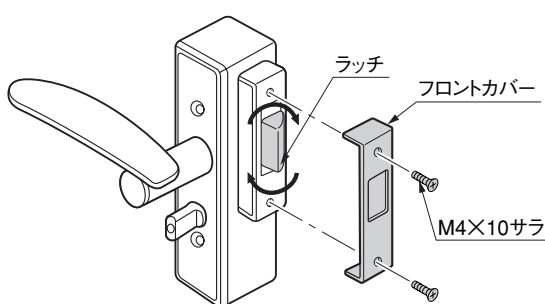
※図はH:1800の寸法を示します。
※()寸法はH:1400を示します。

3. 錠セットの勝手変更

3-1 勝手変更

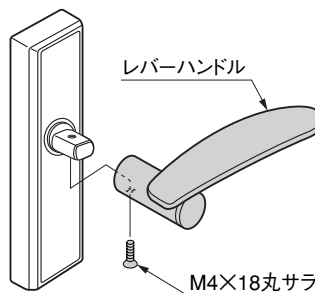
<注意>

- 本セットは、右勝手内開き用になっています。扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、下図に従って、ラッチ錠、レバーハンドル、ラッチ錠ボックスの勝手を変更してください。



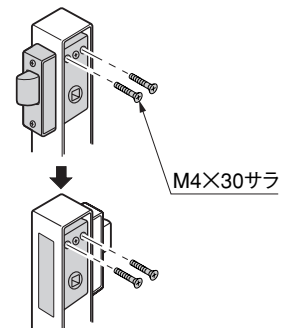
(A) ラッチの変更

- フロントカバーを外し、ラッチを回転させてから再度M4×10サラネジで取付けてください。



(B) レバーハンドルの変更

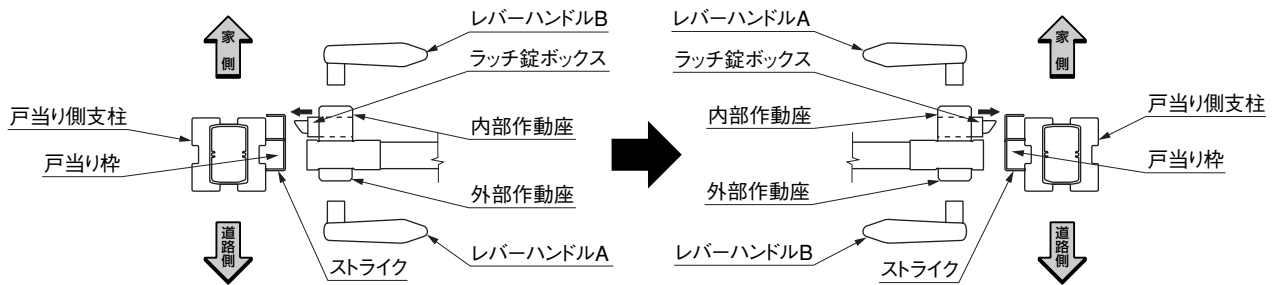
- レバーハンドル固定ネジ(M4×18丸サラ)を外し、レバーハンドルを変更してください。



(C) ラッチ錠ボックスの変更

- ラッチ錠ボックスネジ(M4×30サラ)2本を外し、ラッチボックスを抜き取ってください。ラッチボックスを反対側から挿入し、再びラッチ錠ボックスネジ(M4×30サラ)2本で固定してください。

3-2 右勝手内開きから左勝手内開きへの変更

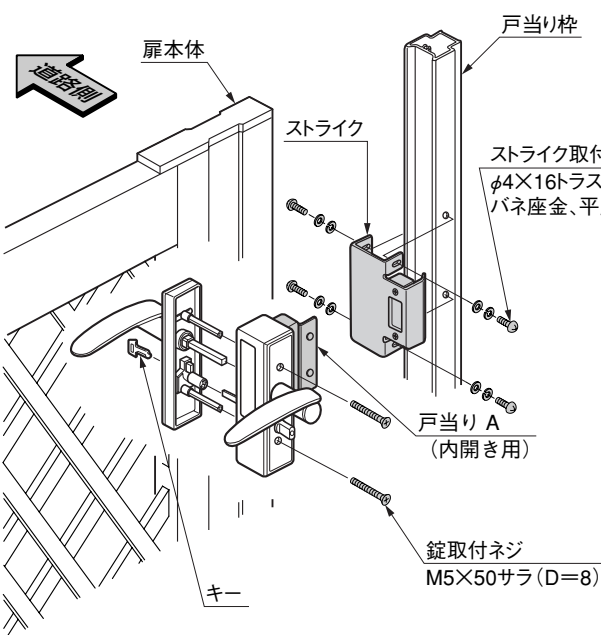


勝手変更方法

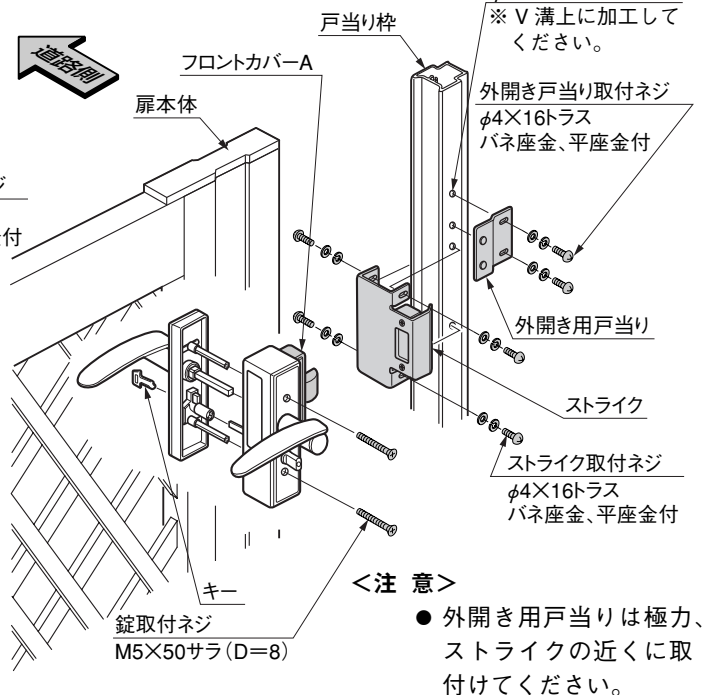
扉の勝手変更 (図は扉を上から見た図です)		錠セット勝手変更
右勝手内開き		勝手変更不要。 そのまま取付けてください。
右勝手外開き		勝手変更(A)に従って、 勝手を変更してください。
左勝手内開き		勝手変更(A)・(B)・(C)に従って、 勝手を変更してください。
左勝手外開き		勝手変更(B)・(C)に従って、 勝手を変更してください。

4. 錠の取付け

4-1 内開きの場合



4-2 外開きの場合



5. 戸当り枠およびストライク・戸当りの取付け

戸当り側支柱 戸当り枠キャップ取付ネジ
φ4×20 (G=5)トラス
戸当り枠キャップ
Ⓢシール
戸当り枠固定ネジ
φ4×35バインドピース
プッシュボタン
ストライク
戸当り枠
ストライク取付ネジ
φ4×16トラス
バネ座金、平座金付

戸当り側支柱
戸当り枠キャップ
戸当り枠
扉本体
戸当り枠キャップ G.L.

※図はH:1800の寸法を示します。
※()寸法はH:1400を示します。

調整代 ±5mm

- 戸当り枠上下にキャップを取付けてください。
- 戸当り側支柱に戸当り枠を中央の長穴中央部1ヶ所のみ、仮取付けてください。
- ストライクを仮取付けてください。

＜注意＞

- ストライクは扉勝手に合わせて取付けてください。
- 扉の開閉に支障が無く、所定の寸法に合っていることを確認してください。
- 錠のラッチがストライクに掛かりにくい場合は②で仮固定した戸当り固定ネジをゆるめ、戸当り枠を上下に調整してください。

④ ストライクを外し、戸当り枠を上中下3ヶ所本固定し、上下2ヶ所のφ10の穴にプッシュボタンを取付けてください。

⑤ ストライクを本取付けてください。

6. ヒンジの取付け・本体の吊り込みおよび各部の調整

ヒンジ固定ボルトキャップ
ヒンジ固定ボルト
ヒンジキャップ
ヒンジ
ヒンジ裏板
扉本体
ストライク
戸当り枠

シャフト固定ボルトM6×20
バネ座金、平座金付
シャフト
調整金具
シャフト用ワッシャー
調整金具シャフト位置調整±4mm

扉本体上下位置調整
扉本体
ヒンジ

ヒンジ固定ボルトM8×15(フランジ付)
ヒンジ裏板
ヒンジ
ストライク位置調整±2mm
吊元枠
戸当り枠上下位置調整±5mm
V溝有り

※図はH:1800の寸法を示します。
※()寸法はH:1400を示します。

A図

- 扉本体の吊元枠にヒンジ裏板を挿入し、所定の位置にヒンジを上中下3ヶ所に取付けてください。(A図参照)
- ヒンジキャップを取付けてください。
- ヒンジ固定ボルトキャップを取付けてください。
- 扉本体ヒンジ部を調整金具のシャフトに挿入し、扉を吊元側支柱に吊込んでください。

＜注意＞

- シャフト用ワッシャーがセットされていることを確認してください。
- 錠(ラッチ)のかかり具合を確認してください。
- 扉の開閉に支障が無いことを確認してください。
- 戸当り側、吊元側の隙間が規定通りの寸法であることを確認してください。
- ヒンジの取付方向に注意してください。

各部の調整

- 図示の調整箇所をネジまたはボルトをゆるめ、調整寸法範囲内で調整してください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

A260

199909A
201108D_1042